

刊行にあたって	5
---------	---

第1部 アーカイブズ情報の共有化と情報社会

第1章 社会学による	
アーカイブズ論のための基礎的考察	安倍 尚紀 15
—2つの情報社会論—	
第2章 政府のアカウントビリティとアーカイブズ	藤吉 圭二 41
—20世紀前半のヴィクトリア州公文書管理を事例として—	
第3章 諸外国における	
アーカイブズ情報共有化の現状とその手法	坂口 貴弘 57
第4章 史料保存機関における	
情報資源化の取り組みと課題	大友 一雄 83
第5章 国立国語研究所における	
研究資料の保存と活用について	森本 祥子 99
—集中管理の実現とEADによる資料記述の模索—	

第2部 アーカイブズ情報の概念と構造

第6章 国際標準(ISAD(G)2nd/ISAAR(CPF)2nd/ISDF)による	
組織構造体と機能構造体としての	
フォンドの統一的把握	青山 英幸 123
—アーカイブズ・レコード・マネジメントにおける	
アーカイバル・コントロール構築のために—	
第7章 フォンドとシリーズの関係について	青山 英幸 161
—北海道庁本庁拓殖関係文書の編成と記述に携わった	
経験を振り返って—	
第8章 レコード・マネジメントにおける	
国際標準の適用	吉田 千絵 177

第3部 アーカイブズ情報共有化の実践技法

第9章 EADの概要と日本における動向	五島 敏芳 203
—国文学研究資料館の事例紹介を中心に—	
第10章 EAD/XMLのウェブ上での表示とXSL	丸島 和洋 235
—国文学研究資料館の事例から—	
第11章 表計算ソフトを利用した	
史料目録EAD化のためのツール	村越 一哲 263
あとがき	281